

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きや所管国の状況などを短くまとめて紹介します



パリ事務所

フランスで輝く日本酒、Kura Master 授賞式が行われました

2025年9月24日、在仏日本大使公邸にて第9回クラマスタ（Kura Master）授賞式が開催されました。クラマスタは2017年に始まったコンクールで、フランス人ソムリエやバーマンなど飲食業界のプロフェッショナルが日本酒や本格焼酎、泡盛、梅酒を対象に審査を行うものです。今年度は新たに日本ワイン部門が設立され、日本固有種である甲州ブドウを100パーセント使用したワインも審査対象に加わりました。

今年度は出品総数1,349点のうち447点が受賞し、その中から審査員賞として選ばれた19点が表彰されました。日本から式典に参加した蔵元の皆さんは、米不足や米価格の高騰、地球温暖化といったさまざまな困難を抱えるなかでの受賞を心から喜んでいました。授賞式では、ソムリエによる品評コメントを通して日本酒の奥深さや蔵元の技術力、それに伴う国際的な評価を実感することができました。

次年度、クラマスタは10周年の節目を迎えます。日本各地で生み出される多様な日本酒が、本コンクールを通じてさらに脚光を浴び、世界の酒文化の中でより広く愛されていくことを願っています。



審査員賞受賞者



審査員賞を受賞した酒（一部）



シドニー事務所

世界で最もクールな街の1つ バーウッド市を訪問しました

2025年9月10日、クリアシドニー事務所は、シドニー中心部から車で約15分の距離に位置するバーウッド市を訪問し、意見交換を行いました。

市には2024年時点で約4万3,300人が暮らしており、今後10年で人口が倍増すると見込まれています。また、110を超える国籍の住民が共生するオーストラリアでも有数の多文化都市です。市役所は32の国にバックグラウンドを持つ多様な職員で構成されています。

市は、昼夜を問わず人々が集う拠点としての都市づくりを目標に掲げ、夜間の安全対策の強化や路地の有効活用などにより活動環境を整備し、イベントの開催を通じて夜間の商業活動の活性化や人流の増加を実現しています。現在は、夜間も安全に楽しめる都市づくりをさらに進めるため、「パープルフラッグ」と呼ばれる夜間経済に関する国際的な認証の取得を目指しています。こうした取り組みや多文化都市としての魅力が評価され、今年、国際メディアから「世界で最もクールな街の1つ」として紹介されるなど、注目を集めています。

当事務所は、ごみの排出・埋立量削減を目指す同市の関心に応じ、日本のごみ処理施策を紹介しました。併せて、地域活性化と観光促進の一環として日本各地で活用されている「ゆるキャラ」を紹介し、日豪の自治体が抱える課題や工夫について意見交換を行いました。今回の訪問は、互いの知見を共有し、交流を深める貴重な機会となりました。



バーウッド市公式
ホームページ



バーウッド市幹部職員とのあいさつの様子



バーウッド市職員のバックグラウンドの国々



ニューヨーク事務所

ボランティア精神あふれる JETAA アメリカ地域会議

2025年10月3日から5日にかけて、米国首都・ワシントンD.C.でJETAA（元JET参加者の会）アメリカ地域会議が開催されました。

会議は山田駐米大使などによるあいさつから始まり、その後全米の各JETAA支部により、支部の特色や課題についての説明が行われたほか、他支部でも参考にできるような取り組みに絞ったセッションも開かれました。出席者がJETプログラムに参加していた時期はバラバラで、支部の状況も千差万別でしたが、日本に関する活動の盛り上げや日本との関係の持続について盛んな議論がなされていました。

また、支部や会議の運営において、1つ1つの活動に対し丁寧に向き合っており取り組むなど、JET経験者が多大な時間を割いてくださっていることが印象的でした。また、FoJ（フレンド・オブ・JET）はJETプログラムに参加してはいたわけではありませんが、JET経験者とともに運営に参加してくださっています。多忙な日程を縫って、JET経験者やFoJをはじめとした多くの人々が、日本に恩返しをしたいという熱意のもとボランティア精神でJETプログラムや日本文化の推進に日々尽力くださっている中、クリアニューヨーク事務所としていかにサポートできるか、改めて考えさせられました。



山田駐米大使による開会あいさつ
会場前で参加者たちが勢ぞろい
(ともに出典は Courtesy of Marley Taylor, Embassy of Japan)



ロンドン事務所

「JAPAN MATSURI 2025」に参加しました！

2025年9月21日、ロンドン・トラファルガー広場で英国最大級の日本文化紹介イベント「JAPAN MATSURI 2025」が開催されました。日英の友好を象徴する催しであり、15回目となる今回は快晴にも恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。ステージでは武道演武や和楽器の演奏、ラジオ体操など多彩なパフォーマンスが行われ、観客の拍手と歓声で盛り上がりました。会場にはたこ焼きや唐揚げ、抹茶スイーツなどを提供する屋台が並び、長い行列ができるほどの人気ぶりでした。

クリアロンドン事務所もブースを設置し、観光ポスターや映像を通じて各地の魅力を発信。来場者からは「日本の祭りを体験したい」「温泉巡りをしたい」といった声が聞かれ、熱心に資料を手取る姿が見られました。約3,200部用意したパンフレットは閉会前にすべて配布し終え、都市部に加えて地方への関心の高さがうかがえました。さらに今回は初めて日本政府観光局（JNTO）ロンドン事務所と連携し、双方の職員が協力してブースを運営しながら、地方案内の手法を相互に学び合う機会ともなりました。

今後も日本各地の魅力を広く発信していきます。



沢山の人でにぎわう会場



JNTOブースにて説明をするクリアロンドン事務所スタッフ



シンガポール事務所

インド（デリー、ムンバイ）において自治体など職員に対する研修を実施しました！

2025年9月5日から同月13日（国内研修3日間含む）にかけて、インドのデリーおよびムンバイにおいて、「自治体の海外戦略～活力あるアジアとの地域間交流促進～」と題して、全国市町村国際文化研修所（JIAM）との共催により、視察研修を実施しました。

本研修には、全国の自治体などから10人の職員が参加しました。デリーおよびムンバイの両地域において、日本大使館、日本政府観光局（JNTO）、日本貿易振興機構（JETRO）などの日系機関や現地の政府関係機関、日系企業などを訪問し、インドの最前線で活躍する人々からのブリーフィングや意見交換などを通じ、インドの現状や課題について理解を深めました。

また、現地の日本語学校や人材送り出し機関を訪問した際には、日本に興味を持つ学生や今後日本で働くこととなる技能実習候補生と参加者が直接会って意見交換を行うなど、本研修の趣旨のひとつである「交流」の意義を大いに実感できる研修となりました。

各参加者がこの研修で得た知見や経験を、今後それぞれの地域の国際化に生かしていくことが期待されます。



ムンバイの政府機関でのブリーフィング



技能実習候補生との意見交換



ソウル事務所

「2025 日韓共同セミナー」を開催しました！

クレアソウル事務所では、毎年、韓国地方行政研究院（KRILA）と共同で日韓両国に共通する地方の課題などについて議論する日韓共同セミナーを開催しています。

今年は日韓国交正常化 60 周年という節目の年であることに加え、韓国における首長公選制の導入、日本における地方分権推進法施行から 30 年という日韓の地方自治にとっても記念すべき年であり、16 回目の開催を迎えた今回のセミナーは、「地方行政の革新と地域活性化」をテーマに開催しました。

日本側からは、滋賀県守山市の森中高史市長に、立地特性を生かした地域活性化について基調演説を行っていただき、（一社）Satoyakuba の田林信哉代表理事からは、地方自治の原動力としての「風土自治」について、また長崎県ソウル事務所の朝長浩志所長からは、海外交流を通じて育まれた独自の地域文化について発表いただいたほか、韓国側からも、生活人口の拡大に向けた取り組みなどについての発表が行われました。

セミナーの詳細は、右記の二次元コードからご覧いただけます。



セミナー詳細はこちら



セミナーに登壇いただいた両国の有識者



北京事務所

広東国際旅游産業博覧会（CITIE）2025 に出展、「最優秀組織賞」を受賞！

クレア北京事務所は、2025 年 9 月 12 日から 3 日間にわたり、広東省広州市で開催された「広東国際旅游産業博覧会（CITIE 2025）」に出展しました。

主催者の発表によると、期間中は 50 の国と地域が参加し、のべ約 15 万人以上の来場者でにぎわいました。クレアブースにおいては、在中国自治体事務所に加え、日本から秋田県、広島県が参加し、計 22 の自治体が一体となって観光 PR を行いました。

当日は、パンフレットの配布などにより日本各地を PR したほか、自治体のグッズをプレゼントする抽選会や日本政府観光局（JNTO）との共同によるスタンプラリーを実施しました。また、JNTO が設置したステージでは、クレア北京事務所職員が派遣元自治体を紹介するプレゼンテーションを行いました。

クレアブースを訪れた来場者からは、「冬のおすすめの日本の旅行先はどこか」「東京、大阪周辺のおすすめの場所を教えてください」などの声が寄せられ、東京、大阪などの大都市以外のパンフレットも好評で、訪日旅行に対する関心の高さがうかがえました。

多くの団体と協力し熱心に PR を行うことができ、結果として、昨年度に引き続き最優秀組織賞を受賞することができました。クレアでは今後も各地方自治体と連携して積極的に自治体の PR を行ってまいります。



来場者が訪れるクレアブースの様子



クレア北京事務所職員による派遣元自治体 PR



交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナー（ニューヨーク事務所管内）を開催しました

2025 年 9 月 14 日から 20 日の 7 日間、アメリカおよびカナダの自治体や関係団体から幹部 7 人を迎え、東京都および大阪府八尾市において「海外自治体幹部交流協力セミナー」を開催しました。

プログラムの前半では、東京都において明治大学の木村俊介教授による講義を受け、日本の地方自治体制度の歴史的背景や現状および課題について理解を深めました。

後半は大阪府八尾市において、『「OPEN FACTORY CITY YAO」を産業スローガンに掲げる八尾市の公民連携した産業観光の取り組みについて』をテーマに、視察と交流を実施しました。参加者はまず、八尾市が出展する大阪・関西万博の展示を訪れ、先端技術や創造的な産業活動に触れました。その後、市内の工場を巡り、地域企業が有する革新的な技術や独自の取り組みを直接見学しました。

セミナー期間中は、参加者と八尾市職員および企業経営者との間で活発な意見交換が行われ、参加者は自らの経験と照らし合わせながら共通点や相違点について議論しました。これにより、今後の施策に生かせる具体的なアイデアを得ることができ、施策展開に資する有意義な機会となりました。



八尾市内工場見学



「みせるばやお」にて意見交換

経済交流課

海外経済活動に役立つ情報をクリアウェブサイトに掲載しています！

クリアでは、各自治体などの皆様が「外国人観光客誘致」や「海外販路開拓」に取り組む際に、参考となりうる各自治体などの先行事例をクリアウェブサイトにおいてご紹介しております。

また、自治体などの皆様から情報提供いただき、記事化して掲載することも可能です。皆様の活動内容のPRにもなりますので、ぜひご活用ください。ここでは、今年度の掲載実績として、愛媛県大洲市の取り組みをご紹介します。

大洲市では、歴史的景観を活かした観光まちづくりとして、全国初の「キャッスルステイ（城泊）」を展開しています。大洲城に泊まるという唯一無二の体験に加え、市内の町家・古民家を活用した分散型ホテルも整備され、町全体が宿泊施設として生まれ変わりました。そこに至るまでは地域が寂れていく危機感を再生への推進力へ昇華させた大洲市の奮闘と奔走がありました。市民・民間・行政の連携を実現させ、地域文化の継承と経済活性化を両立。訪れる人々に、非日常と歴史の息吹を感じさせる、極上の滞在型観光を提供できたことは、過疎化が進む全国の地方都市においても、知恵と工夫、そして市民の想いによって魅力あるまちづくりが可能であることを示しており、地域共創型観光の好事例そのものであると言えます。

記事はクリアウェブサイトの経済活動の項目から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

【お問い合わせ】

経済交流課ウェブサイト：<https://economy.clair.or.jp/>

Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp



大洲市まちづくりの中心舞台となった大洲城

多文化共生課

「防災・減災のための多言語支援の手引き 2023」を改訂しました！

クリアでは、自治体や地域国際化協会の職員など、災害時に外国人支援に従事される方を対象に、災害時外国人支援に関する基礎知識や災害多言語支援センターの設置運営の流れを把握することができる手引きを作成しております。

このたび、2023年に静岡県で発生した2度の台風および2024年に石川県で発生した能登半島地震における災害多言語支援センターの設置事例を新たに追加しました。

災害への備えとして、防災訓練の実施などに当たりぜひご活用ください。

■「防災・減災のための多言語支援の手引き 2023」URL

<https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/saigai.html>

■改訂内容

近年の災害時外国人支援事例を追加（手引き P.83～89）

- ・2023年台風2号、7号（静岡県静岡市）
- ・2024年1月能登半島地震（石川県）

■お問い合わせ 多文化共生課

Tel：03-5213-1725 Mai：tabunka@clair.or.jp



「防災・減災のための多言語支援の手引き 2023」掲載先二次元コード



防災・減災のための多言語支援の手引き 2023

JETプログラム事業部

JETプログラム提供の日本語講座について

JETプログラム参加者の日本語能力向上を目的として、今年度もオンライン日本語講座を無料で提供しています。講座は初級・中級・上級の3つのレベルに分かれており、プレースメントテストを通じて自分に合ったレベルから学習を開始できます。

講座の申し込みは毎月20日まで受け付けており、翌月1日から受講を開始できます。

コースは6ユニットに分かれており、各ユニットを1カ月で修了し、1つのコースを6カ月で修了できるように設計されています。文法や語彙に関する質問は、学習サイトを通じて提出でき、日本語教師から直接回答を得ることができます。

さらに、日本語能力試験（JLPT）N5～N3の模擬問題で試験勉強ができます。今年度は、N1までのコンテンツも収録されています。クリアでは、N3～N1のJLPTに合格した現役JETプログラム参加者を対象に試験料を助成するプログラムも提供しています。

日本語講座の申込フォーム、コースの紹介動画やコースガイドの詳細、またはJLPT助成金についての詳細は、右のリンクを確認してください。日本での生活や仕事をより充実させるために、ぜひこの講座をご活用ください。

日本語講座のレベルについて
昨年度と変更なし。



日本語講座詳細情報



JLPT助成金について